

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2015
September

No. 162

9



JA全農ぐんま

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



事業のうごき 9

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA-TAC活動及び担当者の育成支援
- 担い手対策のための取り組み
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく生玉取扱推進
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)
- きこの種菌及び資材推進
- 群馬県産トマトジュース推進
推進目標 9,500ケース
推進期間 平成27年9月1日～10月31日

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味なら販売 (周年)
- 共計にがうり販売 (9月末日迄)
- 共計オクラ販売 (9月末日迄)
- 共計みょうが販売 (9月末日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計県統一規格露地なす販売 (11月末日迄)

販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 雪害施設工程確認と進捗管理
- 雪害施設被害復旧業務全般
- 低コスト段ボール
(AKライナー・ノンステープル段ボール)の推進
- ハウス用更新資材戸別推進(農ビ・農ポリ等)
- 種馬鈴薯予約推進取りまとめ

- 秋まき用種子推進
(ブロッコリー・ほうれん草・きゅうり等)
- コンニャク用マルチ予約とりまとめ

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
9月19日(土)～23日(水)
秋の大園芸祭(22日火曜日営業)
9月2日・9日・16日・23日・30日
水曜お米特売日
9月26日(土) 午前市
- ☆愛菜館
9月19日(土)～23日(水)
お彼岸セール(22日火曜日営業)
9月9日(水)・18(金)・28(月) 8の日お米特売
9月2日・9日・16日・23日・30日 肉の特売日
9月26日(土) 午前市
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 麦種子消毒剤及び除草剤推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン (9月末日迄)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)

葬祭総合課

- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 平成27年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 大型給湯器特別推進



群馬県麦民間流通地方連絡協議会(小麦・大麦部会合同)
(8.3 前橋市内)

■ 需要に即した麦生産に向け協議

8月3日(月)、県産麦の生産振興と円滑な流通を図ることを目的とした「群馬県麦民間流通地方連絡協議会」が開催され、生産者団体や県内外の実需者、行政関係者等約50名が参加しました。当日は、県産麦に対する実需者側の意見・要望と生産者側の評価について情報が共有された他、単収設定に対する検証、生産計画、平成28年産麦(小麦・大麦)のアローワンス(契約数量に対する受渡し許容範囲)の設定等について協議が行われました。



第1回 納涼祭
(8.21 JAアシストホールたかさき)

■ 地域住民との交流を図る

8月21日(金)、日頃の感謝と地域の方たちとの交流を図ることを目的に「第1回 納涼祭」がJAアシストホールたかさきにおいて開催されました。当日は、ウクレレ演奏やフラダンス、迫力ある和太鼓のパフォーマンス等が披露され会場を盛り上げました。また、フランクフルトや焼き鳥、高崎うどん等の無料配布も盛況で、子供から大人まで大勢の来場者で賑わいました。今後、地域に定着した夏の恒例行事となることが期待されます。



平成27年度TAC活動研修会【管理者向け】
(8.26 前橋市内)

■ TAC活動の更なる発展に向けて

8月26日(水)、営農総合支援センターは、「平成27年度TAC活動研修会【管理者向け】」を開催し、県内12JAの管理者等約30名が参加しました。研修会では、全国本部による情勢報告や新潟県のJA佐渡による基調講演が行われ、新規就農者・担い手を支援するためのTAC活動を通じた総合的な取り組みの成果が報告されました。県内の優良事例としては、JA碓氷安中のパッケージセンターの取り組みが紹介されました。また、参加者による県内JAの活動状況報告や活発な意見交換も行われ、情報の共有化と今後に向けた意識の統一化が図られました。



総合食肉センター感謝祭
(8.28 ㈱群馬県食肉卸売市場グランド)

■ 日頃の感謝の気持ちを込めて

8月28日(金)、㈱群馬県食肉卸売市場のグランドにおいて、JA佐波伊勢崎・JA高崎ハム(株)・㈱群馬県食肉卸売市場・当県本部共催の「総合食肉センター感謝祭」が開催されました。この祭りは、当県畜産事業に対する地域の方々の日頃の理解と協力に感謝の意を込めて毎年開催されており、今年も上州牛・上州麦豚の試食提供やパネル展示を通して、安全・安心・美味しい群馬県産食肉をPRしました。会場では、JA高崎ハム(株)商品の販売、ステージでの音楽イベント等も行われ多くの家族連れで賑わいました。



「野菜の日」消費拡大イベント
(8.29 愛菜館)

■8月31日は「やさいの日」

JAグループでは、8月31日(月)の「やさい(野菜の日)」に合わせ、青果物の消費拡大と消費者の理解促進を図ることを目的としたイベントを全国各地で行いました。当県本部では、8月29日(土)に花木センターおよび愛菜館において、来店者に野菜のレシピが掲載されたリーフレット等を配布し、群馬県産野菜の魅力を紹介しました。また、関東・中京・京阪神・福岡の量販店においても高原野菜を中心としたフェアを開催し、消費者に県産青果物の美味しさや安全性をPRしました。

関東圏2店舗目「JAファーマーズ朝日町」オープン!

～ 8.8 JAファーマーズ朝日町 ～

8月8日(土)、株式会社エコープ関東は前橋市に「JAファーマーズ朝日町」を開店し、当日行われたオープニングセレモニーには施主代行を務めた当県本部の関係者も出席しました。同店は、大型のJA農産物直売所とスーパーマーケットが一体となった新しいタイプの店舗(新業態店舗)で、野田宿店に続き関東圏で2店舗目の出店となります。地元のJA前橋市や県内JA

から調達した産直品に加え、前橋市が推奨するブランド認証品「赤城の恵」を積極的に取扱っているのが特徴です。当日は、大勢のお客様が集まる中セレモニーが執り行われ、華々しく開店が祝されました。

今後JA全農グループでは、「国産農畜産物の販売力強化」の実現に向けて、直売所一体型の「新業態型店舗」の出店をすすめていきます。



▲ JA関係者らによるテープカット



▲ 新鮮野菜が並ぶ生産者直売所コーナー



▲ 前橋産牛肉・豚肉を中心に
県産お肉の豊富な品揃え

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
こだわり野菜! 辛味大根と水なす/JA佐波伊勢崎	9月28日(月)	PM 9:00~9:30
	※10月4日(日)	AM 8:00~8:30
地元になたな名産品を!/JA群馬中央会	10月5日(月)	PM 9:00~9:30
	※10月11日(日)	AM 8:00~8:30



山部 朱里アナ



1

上州和牛の専門店 「焼肉あぐり浅草店」オープン!!

9月5日 グランドオープン

9月5日(土)、株式会社エコーブ関東は、東京都台東区浅草に「焼肉あぐり浅草店」を県外に初出店しました。同店は、当県本部が所有する「グッドぐんまの旬の市」を改築したもので、群馬県産農畜産物を提供する焼肉店として今回新たにオープンしました。『上州和牛・上州牛・上州麦豚・麦風鶏』をはじめ、野菜・米・地酒に至るまでとことん群馬県産にこだわったメニューを取り揃え、大消費地のお客様に素材のおいしさと安全性をアピールします。



株式会社エコーブ関東の織田展男社長は、「群馬県産オンリーにこだわることで、安定した肉の味を提供できる。また、生産者の顔まで分かる安心感もある。期待を裏切らない接客・味で多くの方に群馬の魅力を感じてもらい、浅草地域1番店を目指したい。」と話します。

店内は1階から4階まであり、1階がカジュアル風テーブル席、2階がVIPルーム風個室席、3階が和風テーブル席、4階が掘りごたつ風座敷席と各階で異なる空間を楽しむことができ、少人数から宴会まであらゆる対応が可能です。

「焼肉あぐり浅草店」では今後、国内はもとより海外からのお客様にも満足していただける安全でおいしい群馬県産食材を提供し、更なる認知度向上と消費拡大を図ります。ぜひ、浅草で上州牛をご堪能ください!



2



4



3



5



7



8



6

- 1 浅草駅から徒歩2分という好立地にオープンした「焼肉あぐり浅草店」
- 2,3 グランドオープンには、(株)エコーブ関東の社員の方々とぐんまちゃんも応援に駆けつけました。
- 4,5 鶴田店長一押し逸品「上州和牛サーロイン〜極のワンバウンド〜」
- 6 上州和牛・上州牛5種類を楽しめる、自信のメニュー「諭吉盛」
- 7,8 グランドオープン当日、賑わう店内の様子

冬の 蒟蒻

Konjac
Winter Gift

詰合せセット

消費拡大推進期間

H27.11/1~12/31

受注生産

このマークの商品は、受注生産の為、ご注文からお届けまで7~10日程度お時間がかかります。

包装対応

全セット包装致します

※Aセット包装例



Aセット

セット内容

- 群馬県産生芋板こんにゃく... 250g
- 群馬県産生芋糸こんにゃく... 200g
- 板こんにゃく... 250g
- あく抜きいらすしらたき... 200g
- 米粉入りうどんこんにゃく... 170g
- 低カロリー玉こんにゃく... 140g
- 田楽みそおでん5本入... 150g
- 鉄板焼きこんにゃく... 140g

受注生産



甘味セット

セット内容

- ぶるんと蒟蒻ゼリー(グレープ)... 120g
- ぶるんと蒟蒻ゼリー(ピーチ)... 120g
- こんにゃくマンゴープリン... 250g
- こんにゃく杏仁プリン... 250g
- ミルクな寒天(ブルーベリー)... 180g
- ミルクな寒天(ストロベリー)... 180g
- あんみつ... 180g

受注生産



特別セット

セット内容

- げんこつ山の玉こんにゃく(生ずり)... 380g
- 生芋こんにゃく(生ずり)... 270g
- 生芋しらたき(生ずり)... 250g
- 生芋小玉こんにゃく(生ずり)... 200g
- 刺身こんにゃく(青)... 250g
- 突きだしこんにゃくのピリカラ炒め... 180g
- みそ漬こんにゃく... 130g

お願い...商品の都合により、パッケージ・品名・量目等がかわることがありますので、ご了承下さい。

※写真はイメージです

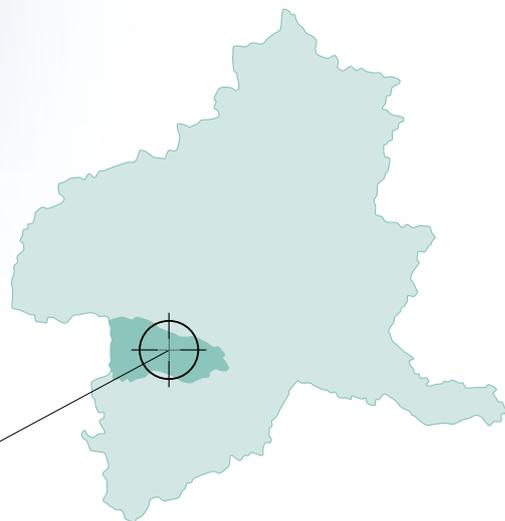
ご注文はJA・全農へ

お問い合わせ先 / JA全農ぐんま 米麦特産課

TEL.027-220-2251 FAX.027-265-1415

農業 チャレンジ

JA碓氷安中



野高品質な牛乳を消費者へ届けたい

JA碓氷安中管内 中島 陽一さん



中島 陽一
(なかじま・よういち)さん

1977年生まれ、37歳。
JA碓氷安中酪農部会所属。
JA碓氷安中青年部の部長を務める。

飼養頭数：搾乳牛……60頭
趣味：ゴルフ・スキー・
スノーボード

周囲と協力することで成長

今回のチャレンジャーは、JA碓氷安中管内で酪農を営む中島さんです。大学時代は、建築について学んでいたという中島さん。就農に至った経緯を伺うと、「やはり農業に従事する両親の姿を見て育ったので、『いつかは自分も』という思いはありました。就職をどうするか悩んでいる時に、自分と同年代の方が身近で就農し、それが大きな後押しとなって本格的に酪農の道に進むことを決めました。始めた当初は慣れない作業に苦労しましたが、周囲の先輩方や同年代の就農者と情報交換する中で徐々に知識を習得し、次第に自分のやり方を確立してきました。14年目となった今では、成牛を購入するタイミングを決めたり、新しい飼料に切り替えたりと自分で決断する機会が増えましたね。」と話します。搾乳は朝晩2回、ご家族3人で他の作業と分担して行っているそうです。

「安全・安心」を追及

中島さんは、毎日一頭一頭牛の状態を確認し、些細な変化に敏感に対応しています。「牛の体調によって乳の質が変わるので、毎日えさの食べ方や行動を見て異常がないか確認します。

獣医や飼料業者に相談することもあり、その牛に合った飼料設計を行うことで体調を管理しています。高脂肪・高品質なおいしい牛乳を生産するには、常に牛が健康な状態でなければなりません。」と話します。牛の健康管理には何よりも気を配っています。

将来へ向けて

現在、JA碓氷安中青年部の部長を務めている中島さん。「この地域には比較的多くの後継者がいるので、若手同士お互いに切磋琢磨しながら励んでいます。身近に同年代の存在がいることは、良い刺激になるし心強いです。」と話します。青年部では、研修会や勉強会を通じて日頃から交流を図り、信頼関係を築いているそうです。

最後に今後の展望を伺うと、「無駄を省き、作業人数が減っても今の頭数を維持し続けられる経営をしたいと思っています。そのため、搾乳ユニットの自動搬送装置等、作業効率を上げる機械の導入も検討しています。TPP参加での影響を始め、酪農を取り巻く環境は厳しいですが、その中で生き残れる酪農家になるため、今後も日々努力していきます。」と話してくれました。品質にこだわり、熱い思いで前進する中島さんの挑戦はこれからも続きます。



1



2



3



4

1 牛の状態を確認する中島さん。牛の体調と生乳の質は直結していると話します。

2 ミルカー(搾乳機)。真空圧を調節することで、自動で搾乳が行えます。

3 牛舎内の様子。この秋には、10頭ほど頭数を増やす予定だそうです。

4 生後10日の子牛。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA太田市
経済部 経済課 アグリ資材館

成井 宏樹さん

なるい・こうき (38歳)

趣味.....筋トレ・晩酌

好きなお酒.....ビール・焼酎

●職場の皆さんからみた成井さん

「何事にも動じず、前向きな性格です。組合員からの信頼も厚いため、周囲から期待されています。今後更なる活躍が楽しみな存在です!」

「最適な商品提案で、 組合員の役にたちたい」

—どうしてJAで働こうと思ったのですか？

以前は全く異なる業種で働いていたのですが、妻の実家の農作業を手伝ううちに農業に興味を持つようになり、3年前にJAへ転職しました。

—仕事内容を教えてください。

ここアグリ資材館で、肥料・農薬の受発注・販売・配送の段取り・在庫品の管理など生産資材に関する業務全般を行っています。

—実際に働いてみてどうですか？

対面販売で直接お客さんと接する機会が多く、やりがいがあります。店頭では、時期ごとに使用する農薬の種類などについて聞かれることが多いので、適切な回答ができるよう資料を読んで日々勉強しています。農薬は種類が多いので覚えるのが大変ですが、もっと専門的な知識を身につけ皆さんのお役に立ちたいです。

—アグリ資材館での仕事で、心掛けていることは何ですか？

来店しやすく、相談しやすい雰囲気作りに努めています。何でも気軽に相談していただけるよう、普段から組合員さんとのコミュニケーションは堅苦しくならないように心掛けています。また、生産者の出荷に関わる重要な資材なので、在庫を切らすことなく必要な物をいつでも供給できるよう、在庫管理・発注は常に慎重に行っています。

—趣味は筋トレと晩酌とのことですが。

夏に家族で海に行くため体作りをして以来、現在も腹筋を鍛えることにはまっています。また、お酒を飲むことが大好きなので晩酌は毎日欠かしません。仲間と飲みに行くこともありますが、自宅でじっくり飲むのが好きですね。

—休みの日はどのように過ごしていますか？

子供が3人いるので、子供たちと遊んでいます。まだ3人とも小さいので、家の中は毎日賑やかですよ。

—最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

今後は、JA太田市管内の主要な作物の栽培に関する知識も増やし、組合員の皆さんを営農指導の面からもサポートできたらと思っています。3年目となりようやく仕事にも慣れてきましたが、油断してミスをする事のないよう、初心を忘れずに今後も頑張っていきたいです。

—成井さん、お忙しい中ありがとうございました。



▲組合員に農薬購入のアドバイスをする成井さん

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は8月25日に7月の牛乳乳製品統計を公表した。7月生乳生産量は62万8,725tで前年に比べ1.8%増加した。北海道は33万4,975t(前年同月比1.8%増)で生産量の全国シェアは53.2%となった。

都府県の生産量は29万3,750tとなり、前年同月比で1.6%増加した。

■販売及び乳製品情勢

7月の用途別処理量は、牛乳等向けが33万8,115t(前年同月比0.3%増)、乳製品向けが28万5,841t(〃3.5%増)となった。

飲用牛乳等生産量は29万4,658kl(〃±0%)で前月から0.4ポイント減少し、内牛乳が25万4,866kl(〃0.7%増)、また乳飲料は12万3,134kl(〃2.6%減)で前月より2.1ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	625,011	648,952	624,650	628,725		
	群馬(委託実績)	18,539	19,033	17,853	17,612		
用途別処理量	本会(委託実績)	5,955	6,116	5,719	5,542		
	飲用牛乳等向け	322,457	347,312	349,033	338,115		
	乳製品向け	297,955	296,945	270,983	285,841		
前年対比	その他向け	4,599	4,695	4,634	4,769		
	生乳生産量(全国)	99.7	99.8	100.9	101.8		
	〃(群馬)	98.5	98.9	99.4	100.0		
	〃(本会)	96.1	97.2	98.0	98.1		
	飲用牛乳等向け	102.7	101.5	101.1	100.3		
	乳製品向け	96.7	97.9	100.8	103.5		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
							2,527,338
							73,037
							23,333
							1,356,917
							1,151,724
							18,697
							100.6
							99.2
							97.4
							101.4
							99.7

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(9月予想) 牛肉は堅調。出荷頭数の回復が見込めず、需給は縮まった状況で続く見通し。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,550円中心	・和牛去勢A3	2,150円中心	・交雑去勢B3	1,700円中心
・和牛去勢A4	2,300円中心	・和牛去勢A2	1,830円中心	・交雑去勢B2	1,650円中心
		・交雑去勢B5	2,190円中心	・乳牛去勢B2	1,150円中心
		・交雑去勢B4	1,890円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288	2,257	2,069
27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349								2,298
前年格差	384	435	359	393	390								228
和牛去勢A3	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079	2,055	1,859
27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106								2,100
前年格差	429	468	422	423	380								241
和牛去勢A2	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000	1,828	1,672
27年-28年	2,026	1,848	1,866	1,956	1,832								1,906
前年格差	510	356	380	501	300								234

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計	
26年-27年	1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091	1,012	14,229	
27年-28年	1,085	946	907	1,151	871								4,960	
前年格差	▲206	▲152	▲197	▲111	▲197								▲9,269	
全国と畜頭数	25年-26年	103,062	95,418	90,357	104,661	91,687	93,321	104,050	117,198	113,212	86,606	85,968	91,771	1,177,311
	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748									367,448
	前年比	96.3	91.6	99.2	96.6									98.2

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 703千円平均 (前月比102%)	(雌) 621千円平均 (前月比102%)
②F1価格	(去勢) 250~300kg 1,361円/kg平均	(雌) 250~300kg 1,198円/kg平均
③全農・取引基準価格	(乳去) 260~300kg 675円/kg平均	(前月比101.8%)

養豚情勢

枝肉相場関係

株群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(B)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(C)		569	535	565	613	615								579
(B-A)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121	69	84
(C-B)		16	▲47	▲56	33	67								10

豚肉価格形成要因

株群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138	39,152	474,134
	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998								195,319
前年比(%)		93.4	95.7	107.3	102.6	102.8								41.2

肉豚生産出荷予測（全国） ※7月まで実績／8月以降の出荷予測は

8月7日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4月	5月	6月	4~6月	7月	8月	9月	7~9月	10月	11月	12月	10月~12月	1月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,372	1,231	1,288	3,905	1,341	1,228	1,354	3,923	1,462	1,410	1,566	4,438	1,457
前年同月比(%)		99	94	103	99	100	101	101	101	102	110	107	106	108

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、9月の出荷見込頭数は1,354千頭（前年同月比101%）となっている。その後は10月1,462千頭（〃102%）、11月1,410千頭（〃110%）と予想されている。豚肉相場は、弱含み。暑さが弱まり豚の育成が進み、出荷頭数の回復が見込まれるため。

需要面は、学校給食の再開や大型連休で一定の需要が見込まれるもの、現地相場の下落から輸入品の増加も見込まれるため、需給は全体として緩和する見込み。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

平成27年9月245円（見込み） 106%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209	219	216
27年-28年(B)		227	230	223	213	219								222
(B-A)		4	26	24	23	27	0	0	0	0	0	0	0	7
全国基金	26-27年	0	0	0	2.088	0	0	0	0	0	2.907	0	0	
補填	27-28年	0	0	0	0	0								

■価格動向：8月の平均単価は219円（前年同月+27円）と前年同月を上回り、平成26年9月～平成27年8月期平均は224円（前年同期比+2円）であった。

■出荷動向：卵重が増え、逼迫感のあった大玉が増え、サイズ間のバランスが整う見込み。

■需要動向：気温低下に伴い、家庭用や外食向けにおでんなどの需要が例年より早く増え、引き合いが強まり、また、月後半には大型連休もあり行楽需要も見込まれる見通し。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入実績(t)	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,067	2,542	2,231	26,713
	27-28年	2,449	1,888	2,307										6,644
前年比(%)		107.1	81.6	96.4										24.9
餌付羽数(千羽)	26-27年	8,205	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941	7,764	8,734	97,153
	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375									33,309
前年比(%)		95.9	101.6	102.8	99.6									34.3

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 23年:188円
 (8) 24年:181円
 (9) 25年:207円
 (10) 26年:216円
 (1) 17年:204円
 (2) 18年:184円
 (3) 19年:169円
 (4) 20年:193円
 (5) 21年:175円
 (6) 22年:194円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

8月12日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの2014/15年産は、需要面において米国内工業・種子用途向けで前月発表から若干量上方修正され、13,705百万ブッシェル（前月発表13,696百万ブッシェル）となり、期末在庫率は12.93%（前月発表12.99%）に下方修正された。

2015/16年度は、単収が上方修正され168.8ブッシェル/エーカー（前月発表166.8ブッシェル/エーカー）となったことから、供給量は15,488百万ブッシェル（前月発表15,334百万ブッシェル）と大きく上方修正された。需要面では、飼料用途および工業・種子用途で65百万ブッシェル上方修正される一方、輸出用途で25百万ブッシェル下方修正されたため、期末在庫率は12.44%（前月発表11.64%）となった。

日々の天気予報によって相場が安定しないものの、産地の生育状況としては概ね順調に進んでいる。

シカゴ定期は、8月12日の米国農務省需給見通しで単収と生産量の上方修正が発表されたことから、直近については高騰していた相場は落ち着きを取り戻しており、9月限は360セント/ブッシェル前後で推移している。

②大豆粕

8月12日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年産について、供給量は前月発表と変化がなく、4,091百万ブッシェルとなった。需要量は、搾油需要の増加により15百万ブッシェル増加し、3,851百万ブッシェルとなった。単収については、前回発表から変化はなく47.8ブッシェル/エーカーとなった。結果として、期末在庫は15百万ブッシェル減の240百万ブッシェルと見通され、在庫率も6.23%と前月の6.65%から減少した。

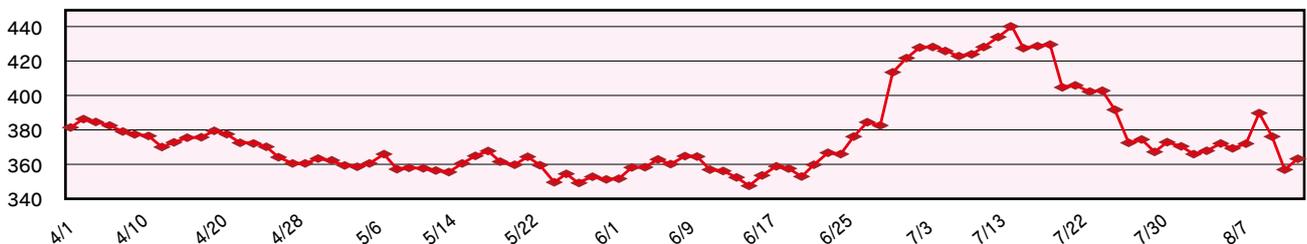
大豆粕のシカゴ定期は、米国の天候、および消費国の需要動向に影響されながら9月限は320ドル台半ばで推移している。

■海上運賃

米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、7月前半までは南米大豆の輸出需要から上昇していたが、輸送需要が落ち着きを取り戻したことから直近についてはやや軟調に推移している。今後は、北米の新穀輸送需要が始まる秋口から堅調に推移すると見込まれている。

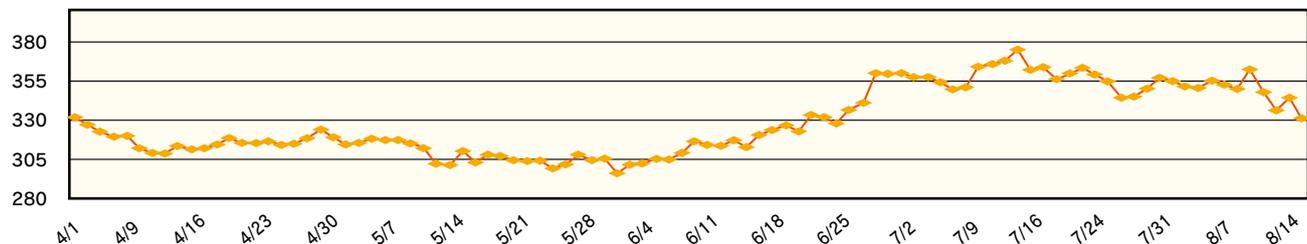
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



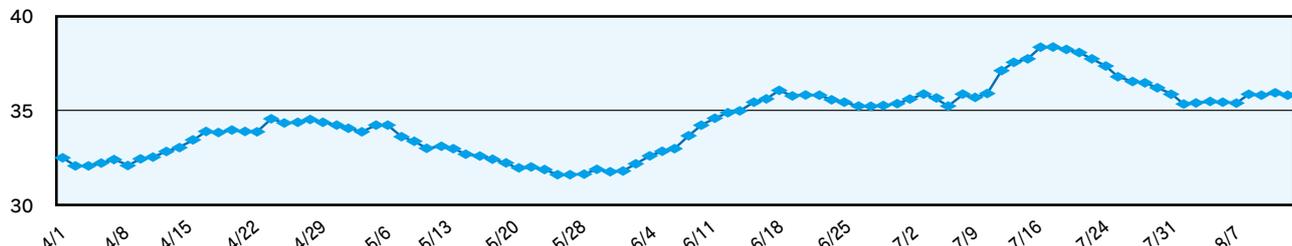
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター-便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今月の花木流通センターのおすすめは、ふらわーらんどで作成している、季節の花を使った「寄せ植え」です。寄せ植えは、季節ごとの数種類の花を1つの鉢で楽しむことが魅力で、贈答用としても大変人気の商品です。花木流通センターでは毎月2回、「寄せ植え講習会」を行っています。どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。

10月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内容
10月3日(土) ・10月4日(日)	収穫感謝祭2015(店舗売り出し)
10月16日(金) ~10月19日(月)	秋の収穫感謝フェア
10月17日(土) 11:00~	味噌作り講習会 【参加費・申し込み方法等 問い合わせ先: ブランド野菜館】
10月24日(土) ・10月25日(日) 両日10:00~	たまねぎ栽培講習会 【参加費無料・申し込み不要】
10月22日(木) 10:00~ 14:00~	花の寄せ植え講習会 (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先: ふらわーらんど】
10月25日(日) 10:00~	花の寄せ植え講習会 【参加費・申込み方法等 問合せ先: ふらわーらんど】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花と緑あふれる広場 KABOKU 花木流通センター

営業時間: 年中無休/9:00~18:00

(節電のため7月~9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

ちさいひろば JA直販 愛菜館

営業時間: 毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



やまと芋二色羹

材 料

4人分 (1個分106cal)

やまと芋 180g
砂糖 35g
水 100cc / 2カップ
寒天パウダー 4g
あんこ 200g

作り方

- 1 やまと芋は皮を剥き、せん切りにする。
- 2 鍋に1のやまと芋・砂糖・水100cc強を入れ火にかける。沸騰したら火を止めザルにあげ、煮汁とやまと芋を分ける。
- 3 別鍋に水2カップと2の煮汁を加え、そこに寒天パウダーを入れ煮溶かす。
- 4 2のやまと芋に3の寒天液3分の1を入れる。ハンドブレンダーで粉碎し、型に流し入れ固める。
- 5 残りの寒天液にあんこを加え、弱火にかけながらよく練り4の上に流す。
- 6 冷やし固め、8等分に切り器に乗せる。